

平成31年度大阪府後発医薬品 安心使用促進事業について

平成31年度 後発医薬品安心使用促進事業

患者・医師へのジェネリック安心使用プロジェクト

☆平成30年度モデル事業（門真市・泉南地域）の府内全域への展開

- ✓ GEに関する患者への丁寧な説明 ⇒ 患者の理解 «使用促進»
 - 品質、経済、製剤工夫など、様々な観点の説明パネル作成・全薬局への配布
- ✓ GE調剤後、飲み心地など服薬状況の確認 ⇒ お薬手帳に記載

+平成31年度モデル事業として

医師へ情報伝達

- ✓ GE調剤後、飲み心地など服薬状況の確認するとともに、患者自身が使用の状況や満足度をお薬手帳に記入し、医師・歯科医師にみせるという、患者から医師への伝達ツールとしての活用
 - お薬手帳の活用に着目したモデル事業を実施

医師への情報伝達
+
患者自身が参画する事業

☆モデル事業

【八尾市】

- ✓ 後発品医薬品を適正に使用するための方策の検討
 - 地域懇話会の開催
- ✓ 品目リスト、フォーミュラ作成促進等

患者が選んだジェネリック見える化プロジェクト

- ✓ 平成30年度モデル事業（門真市・泉南地域）を実施した期間に患者が使用したGEリストを作成
- ✓ ジェネリック医薬品を選択した理由（患者視点）を記載予定

お薬手帳活用モデル事業

平成30年度事業「医師への情報伝達ツール」（様式1）を活用GEへ変更した患者のお薬手帳に次のシールを貼付し薬剤師が記入。

（様式1）医師への情報伝達ツール

【薬剤名： (先発名) 】

・患者に説明した内容

- 先発と効果が同等であることの説明
- 国民皆保険制度の維持について説明
- 支払額の説明
- オーソライズドジェネリックであることの説明
- 錠剤が小さく飲みやすいことの説明
- 錠剤・シートごとに販売名が記載されていることの説明

【様式1のメリット】

- 医師視点：一般名処方（成分名）をした医師が、患者の服用しているGEを知ることができる。…医師が、安心して一般名処方ができる。

例) 高血圧薬

先発：
○○カプセル20mg
(103円/1錠)



GE：
△△酸OD20mg「☆☆」
(39円/1錠)



【薬剤名：△△酸OD20mg「☆☆」（先発名）○○カプセル20mg】

・患者に説明した内容

- 先発と効果が同等であることの説明
- 国民皆保険制度の維持について説明
- 支払額の説明
- オーソライズドジェネリックであることの説明
- 錠剤が小さく飲みやすいことの説明
- 錠剤・シートごとに販売名が記載されていることの説明

平成31年度事業 「医師への情報伝達ツール」（様式1）

+ 患者の服薬状況等について患者自身（又は家族）が記録できるツール（様式2）を併せて活用する。

（様式1）医師への情報伝達ツール

【薬剤名： (先発名) 】

・患者に説明した内容

- 先発と効果が同等であることの説明
- 国民皆保険制度の維持について説明
- 支払額の説明
- オーソライズドジェネリックであることの説明
- 錠剤が小さく飲みやすいことの説明
- 錠剤・シートごとに販売名が記載されていることの説明

【様式2のメリット】

- 患者視点：GEに切り替えても不調が出ていないことを患者自身も認識することができる。患者も医療に積極的に参画する意識をもつ。
- 薬剤師視点：重複・残薬を早期発見し、服薬のアドバイスがしやすくなる。

（様式2）次回診察までに患者（又は家族）が記入

●月●日から服用又は使用しているお薬について

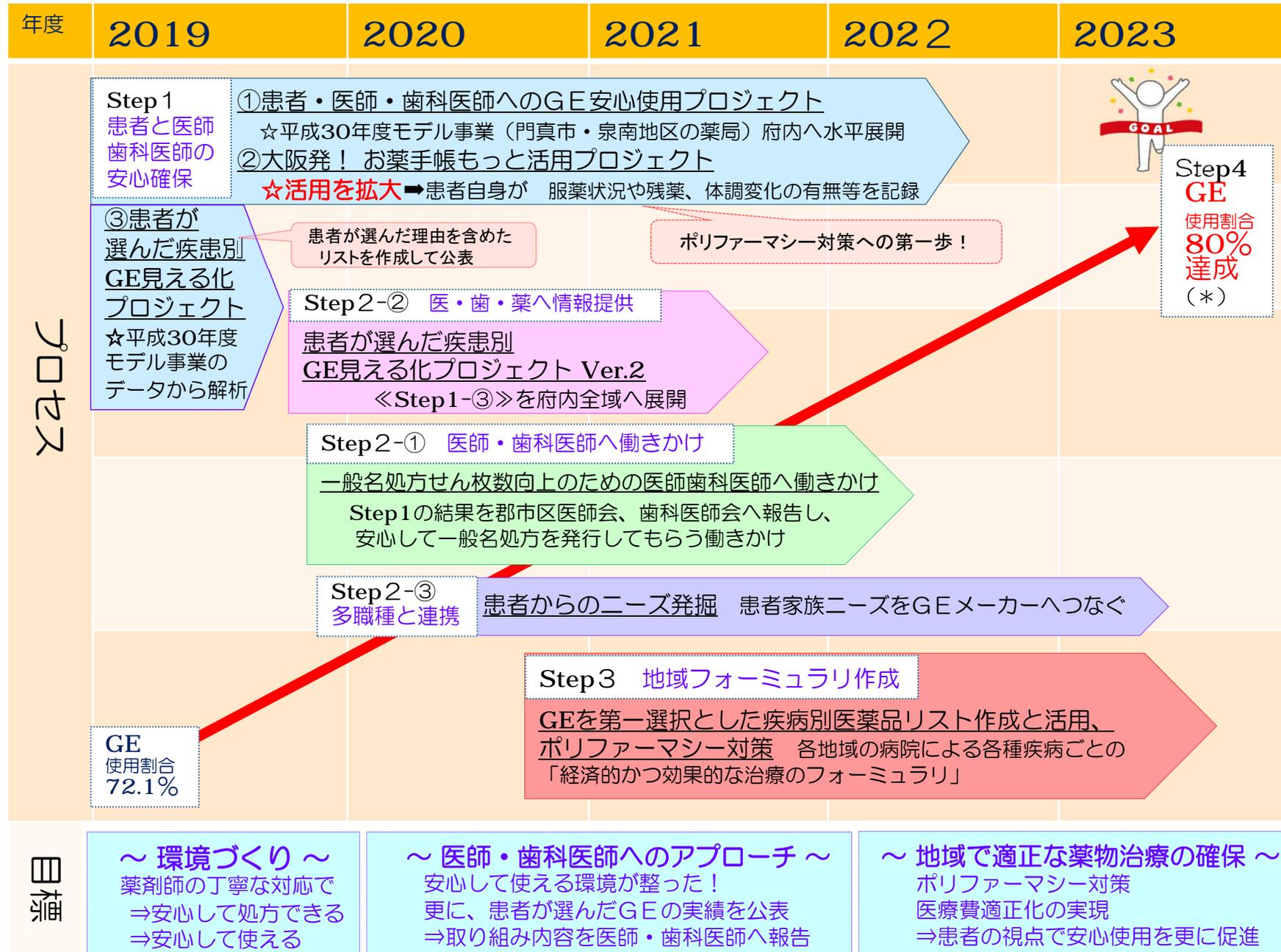
- ①きちんと「飲んで」又は「使えて」いますか はい いいえ (理由)
- ②体調に変化はありませんか ない ある ()
- ③ジェネリックに不安はありませんか ない ある ()
- ④他の医療機関に罹りましたか はい いいえ
- ⑤お薬が家に残っていませんか はい いいえ

（様式2）各項目の意図

- ① 服薬状況を確認→飲んでいない場合はお薬の変更も検討
- ② GEに変更したことで不調が出ていないか確認
- ③ GEの不安を確認 ④ お薬の重複の確認 ⑤ 残薬の確認

大阪府後発医薬品安心使用促進事業ロードマップ ～使用割合80%達成に向けて～

20190318資料
大阪府薬務課作成



(*)第3期大阪府医療費適正化計画 GE指標より

(**)患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けることを意味